

工事説明書 (天井埋込型)

販売事業者・工事事業者さま用

品番

BF-261RGA

1室換気(単相100V)

BF-271RGA2

1室換気(単相200V)

取付工事を始める前に必ずこの工事説明書をお読みください。

1808D

取付工事は販売店様、または専門の工事店様が実施してください。

本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限(内装材の制限、可燃物との距離の制限など)がありますので、詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください。

- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認し、お客様に使用方法、お手入れ方法を説明してください。
- この工事説明書は設置完了後、別添付の取扱説明書と共に必ずお客様にお渡しください。
- 脱衣室への取付も可能です。ただし、可燃物との距離を確保してください。(5ページ参照)

もくじ

特定保守製品に関するお願い	1～2
安全上のご注意	2～4
取り付けのご注意	5
外形寸法と各部の名称	6～7
取り付け前の準備	8～9
ダクト接続口の取り付け	10
本体の取り付け	11
フロントパネルの取り付け	12
電気工事	12～13
リモコンの取り付け	13
試運転	14～16
衣類吊り下げ用パイプの取り付け	17
異常表示	17
各種設定変更のしかた	18～19
ファンのお手入れ	20

特定保守製品に関するお願い

- 本製品は、消費生活用製品安全法(消安法)で指定された「特定保守製品」です。
- 特定保守製品とは、「長時間の使用に伴い生じる劣化(経年劣化)により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況からみてその適切な保守を促進することが適当なもの」として政令で定められた製品です。
- 消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は、特定製造事業者等に対して、所有者情報を提供する責務(消費生活用製品安全法第32条の81項)が定められています。

特定保守製品に関するお願い つづき

【工事店様へ】

●本体とフロントパネルと所有者票の製造年月を合わせるため下記の確認を行って設置工事をお願いします。

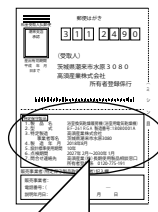
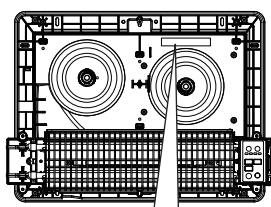
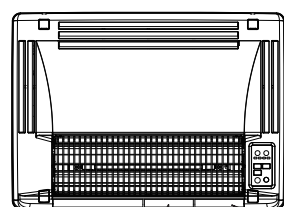
- 1) 本体ラベル、フロントパネルと所有者票の「品番」「製造番号」「製造年月」が同じであること
- 2) 所有者票はフロントパネルラベルと所有者票に記載されている「型式」「製造年月」「製造番号」が違わないように保管し、設置工事が完了したら販売事業者様または所有者様へお渡しください。

【フロントパネル表示位置】

【機器本体表示位置】

【リモコン表示位置】

【所有者票】



所有者登録ハガキ表示例

【特定保守製品】	
1. 製品名	浴室換気乾燥暖房機 (浴室用電気乾燥機)
2. 型式	BF-261RGA 製造番号: 18080001A
3. 特定製造事業者等名	高須産業株式会社
4. 製造年月	2018年 8月
5. 設計標準使用期間	10年
6. 点検期間	2027年 2月～2030年 1月
7. 問合せ連絡先	高須産業(株) 長期使用製品相談窓口
	所有者登録係 0120-775-191

製造番号: 18080001A
AC100V
50/60Hz
1250/1255W
Tabesa
JET
2017年製
浴室乾燥暖房機 BF-261RGA
日本国内家庭用 Use only in Japan
ヒーター周囲温度: 5℃～94℃
高須産業株式会社
Made in Japan

浴室乾燥暖房機 BF-261RGA
製造年月: 2018年 8月 点検期間: 2027年 2月～2030年 1月
設計標準使用期間: 10年
問合せ連絡先: 0120-145-145 住 所: 茨城県潮来市水原 3080

【特定保守製品】BF-261RGA 製造番号: 18080001A
製造年月: 2018年 8月 点検期間: 2027年 2月～2030年 1月
設計標準使用期間: 10年
問合せ連絡先: 0120-145-145 住 所: 茨城県潮来市水原 3080

【特定保守製品】
特定製造事業者等名: 高須産業株式会社 設計標準使用期間: 10年
問合せ連絡先: フリーダイヤル 0120-775-191
※製造年月、製造番号、点検期間については本体に記載

●別添付の取扱説明書は所有者様用ですので、必ず所有者様にお渡しください。

【販売事業者様へ】

●付属の取扱説明書と所有者票は、所有者様 (消費者様、賃貸業者様) にお渡しください。

●フロントパネルラベルと所有者票に記載されている「型式」「製造年月」が違わないように所有者様にお渡しください。

●所有者様 (消費者様、賃貸業者様) に対し所有者票に記載されている法定説明事項をご説明いただく義務 (消費生活用製品安全法第32条の5第1項) と、所有者情報の提供にご協力いただく責務 (消費生活用製品安全法第32条の8第3項) が定められていますので、ご協力をお願いします。

安全上のご注意

必ずお守りください

■取り付けの前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全に取り付けてください。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しております。



警告

この表示を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を見逃して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示 (例) で区分し説明しています。



△ 記号は、「警告」「注意」を促す内容があることを告げるものです。

図の中には具体的な注意内容 (左図の場合は一般的な注意) が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中には具体的な注意内容 (左図の場合は一般的な禁止) が描かれています。



❗ 記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。

図の中には具体的な注意内容 (左図の場合は一般的な強制) が描かれています。

安全上のご注意

必ずお守りください



警告

❗	仕様変更・改造は絶対にしない 火災・感電・けがの原因になります。
🚫	配線工事、電源接続工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「電気工事士」がおこなう 誤った配線工事は、漏電・感電や火災のおそれがあります。
❗	配線コードにより線は絶対に使用しない。 漏電・感電や火災のおそれがあります。
🚫	天井取付専用の換気乾燥暖房機です。天井以外の場所には取付けしない。 感電・火災・故障の原因や法規制に適合しないことがあります。
❗	取付けは、お買い上げの工事店または専門業者に依頼し確実におこなう。 ご自分で取付け工事をされ不備があると感電や火災・落下の原因になります。
🚫	修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理はおこなわない。 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
❗	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取付ける 漏電した場合発火することがあります。
⚡	アース工事は必ず「電気工事士」によるD種(第三種)接地工事をおこない、漏電遮断器を設置する(分電盤にあればよい) アースを取らないと故障や漏電のときに感電することがあります。
🚫	内釜式風呂を据付けた浴室では使用しない。 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこすことがあります。
🚫	運転中に本体から異常や異臭が感じられたら、使用を中止し分電盤の専用ブレーカーを切る。 異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になることがあります。
🚫	BF-261RGAは単相100ボルト、BF-271RGA2は単相200ボルト以外では使用しない。 火災や感電の原因になります。
🚫	有機溶剤やスプレーを本体の近くに置かない。 爆発や故障の原因になります。
🚫	コンセントおよび換気扇用のスイッチは絶対に使用しない。 漏電、感電や火災のおそれがあります。
🚫	本体やリモコンに直接水やお湯、カビ取り剤などをかけない。 故障や感電することがあります。
🚫	リモコンは、床や浴槽に落とさない。 故障の原因になります。
❗	ヒーターの熱を直接受ける場所に造営物が無い事を確認する。(50 c m以上離す) 火災や故障・変形や変色・変質の原因になります。
❗	電源ケーブルは確実に端子部へ接続する 不確実な接続をすると過熱し、火災のおそれがあります。



注意

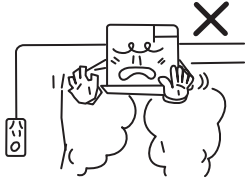
❗	取り付け作業時には、必ず手袋をはめておこなう 板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。
❗	本体の取付け工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う。 落下により、けがをするおそれがあります。
❗	本体の取付けは本紙「取付のご注意」を守る。 火災のおそれがあります。
❗	洗濯物はヒーターから50 c m以上離す。 ヒーターに近づけ過ぎると、火災や故障、衣類の変色や変質の原因になります。
❗	部品の取付けは確実に行う。 落下により、けがをするおそれがあります。
🚫	強い振動や衝撃を与えない。 ヒーターが破損し、感電やガラス破片によりけがの原因になります。
❗	点検期間中に法定点検を受ける 経年劣化により、発火、けがをする恐れがあります。

●ご使用になる前に必ず所有者登録をしてください。

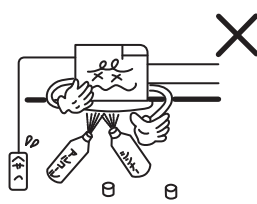
お願い

■取り付け場所について下記の点にご注意ください。

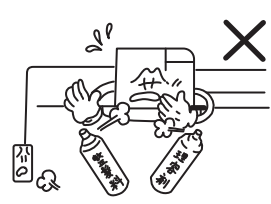
■油煙・タバコの煙の多い場所
で使わないでください。
破損・故障の原因になります。



■有機溶剤を使う場所で使わ
ないでください。
故障の原因になります。



■スプレーを使う場所で使わ
ないでください。
故障の原因になります。



■付近の温度が40℃以上にな
る場所への設置はさけてく
ださい。

故障の原因やモーターの寿命を
早めます。



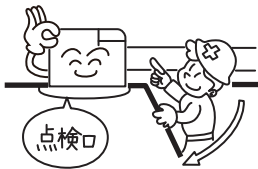
■温泉で使わないでください。
故障の原因になります。



■断熱材でおおわないで
ください。
(故障の原因やモーターの
寿命を早めます。)

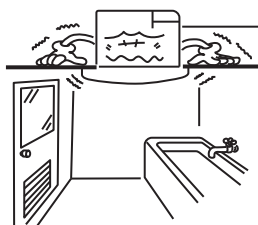


■点検口を設けてください。
保守点検のため



■しっかりと取り付けてく
ださい。

騒音、振動の原因になります。



■給気口を設けてください。

有効開口面積100cm²以上
(効果的な換気できません)



■電源は必ず分電盤の専用ブレーカーに接続してください。

■スチームサウナ・ミストサウナ付の浴室に取り付け
ないでください。
故障の原因になります。

■本体は天井の上に置いて取り付け
ないでください。
本体や前面パネルが正しく取り付けられ
ません。

■ユニットバス以外および下記の浴室では室温が上昇しない場合があります。

- ①窓が大きいとき
- ②浴室の容積が大きいとき
- ③タイル貼りの面積が大きいとき
- ④その他浴室の密閉性や断熱性が悪いとき

■次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因になります。

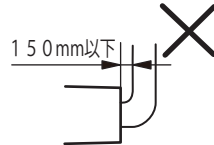
●極端な曲げ
(90°以上曲げない
でください。)



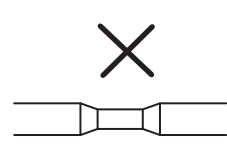
●多数の曲げ
(曲げ数が多くなれば
風量低下します。)



●吐出口のすぐそば
での曲げ



●接続ダクト径を極端に
小さくする。(しぼり)



取り付けのご注意

■製品の取り付けには、下図①～⑥のような規制を受けますのでご確認ください
(地域によっては、火災予防条例にもとづく指導が異なる場合がありますので、行政官庁または
所轄の消防署にお問い合わせください)

①機器本体

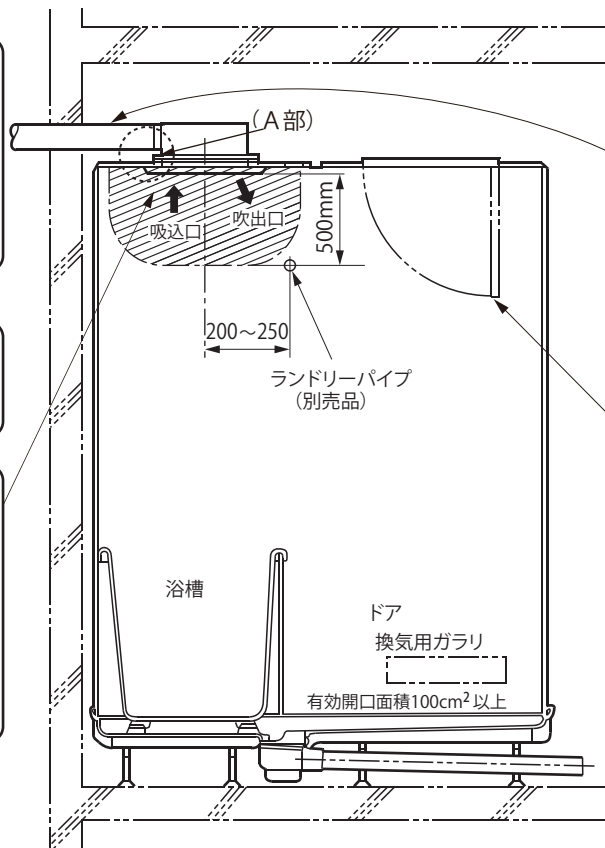
適合機器本体の可燃物等からの
保有距離については製造業者等
が指定する距離で設置できるも
のであること。(本機は上面、
側面共0mm設置が可能です。)

②取り付け

機器は、上階スラブまたは天井
等に堅固に取り付けること。

③造営材等を 設けない範囲

浴室内への温風吹出口および
空気吸入口の前方50cm未満
の範囲内には、造営材等(乾燥
する衣類を含む)を設けないこ
と。



④排気ダクト

○ダクトは不燃材料で造ること。
○ダクトは専用とすること。
但し、一つの住戸内の洗面所、
便所その他これらに類する室の
ダクトと接続される場合で、洗
面所等のダクトが不燃材料で造
られている場合はこの限りでは
ない。

⑤点検口

機器本体に近接する部分に、機器
本体の点検・清掃に必要な点検口
(容易に点検・清掃できる構造の
ものを除く)を設けること。

⑥漏電遮断器

漏電遮断器(電源ブレーカー)を
設けること。

■この浴室換気乾燥暖房機の質量は261RGAが約6.6kg
271RGA2が約7.1kgあります。
取付する天井が弱い場合は、補強材で充分の強度
をもたせてください。
強度が不足の場合、天井変形・本体落下等の原因
となることがあります。

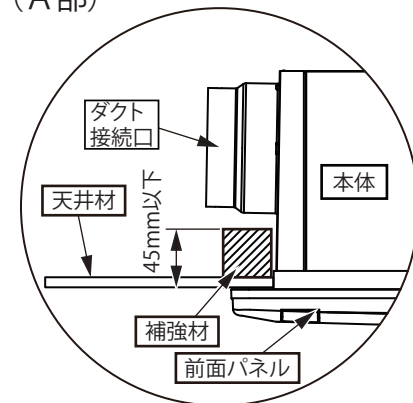
●補強材を必要とする浴室の場合(一例)

補強材が必要な場合は、図のように補強材を取り付け
てください。

※補強材の寸法は天井厚を含めて45mm以下にして
ください。これ以上の寸法になりますとダクト接続
口が正しく取り付けできません。

※その構造条件に応じて取り付け方法をご検討ください。

(A部)



■排気ダクトが他の換気扇と共通になる場合の注意

- マンションで排気ダクトが長く、他の換気扇と排気ダクトを共通にする場合、同時運転時は
換気能力が充分発揮できないことがあります。なるべく単独排気ダクト配管をご検討ください。
- 他の換気扇と排気ダクトを共通にした場合、浴室換気乾燥暖房機を運転すると、他の換気扇側
に排気の一部が流れることがあります。この場合、ダクト継手(逆風防止シャッター付:市販品)
を他の換気扇の排気ダクト側に取り付けてください。

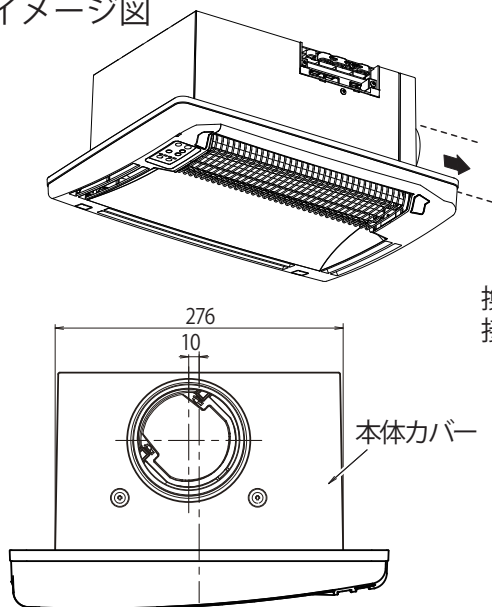
■排気ダクト先端にパイプフード・ベントキャップの防虫網付(細目)は絶対に使用しないでください。

外形寸法と各部の名称

■本体

- 基本開口寸法: 280×400(mm)
- 取付可能開口寸法:
280×400(mm)~300×425(mm) 天井高さ170(mm)以上
- 適合ダクト径 Φ100(mm)
- 取り付けねじ(4×30)ー7本付属

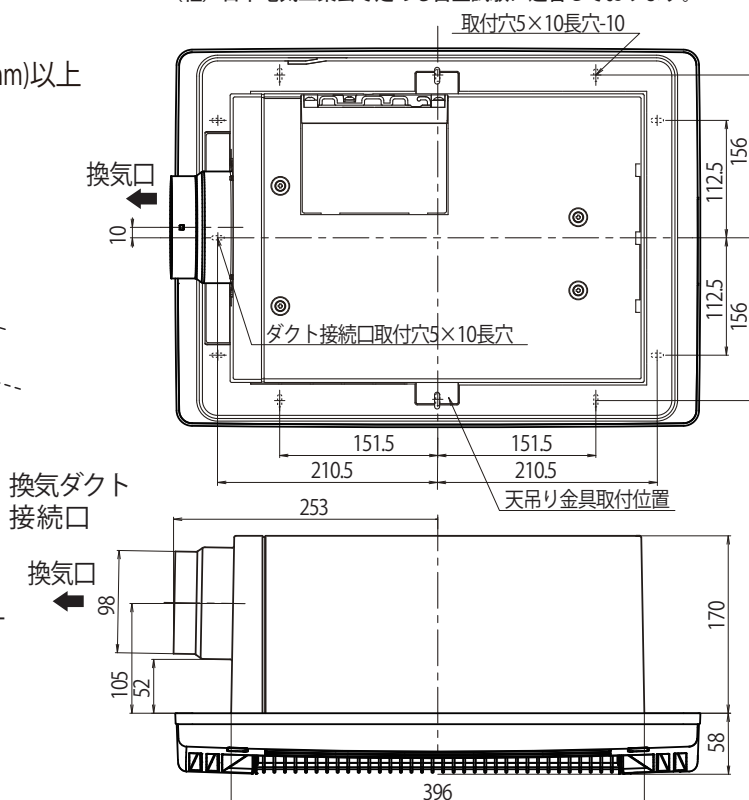
■全体イメージ図



特定保守製品

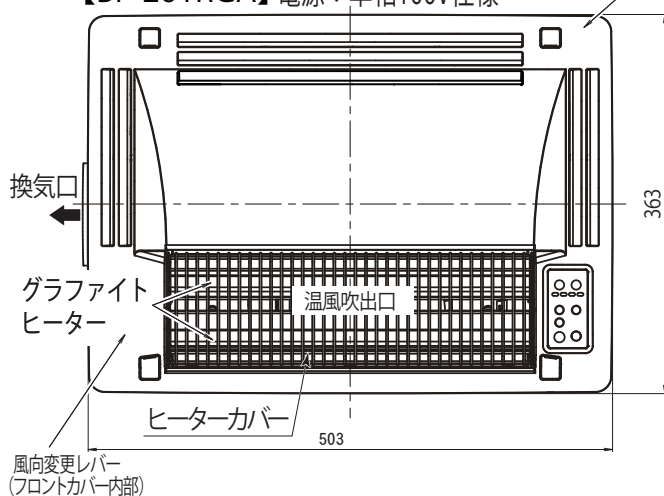
消防法設置基準適合品 “組込形”

(社) 日本電気工業会で定める自主試験に適合しております。



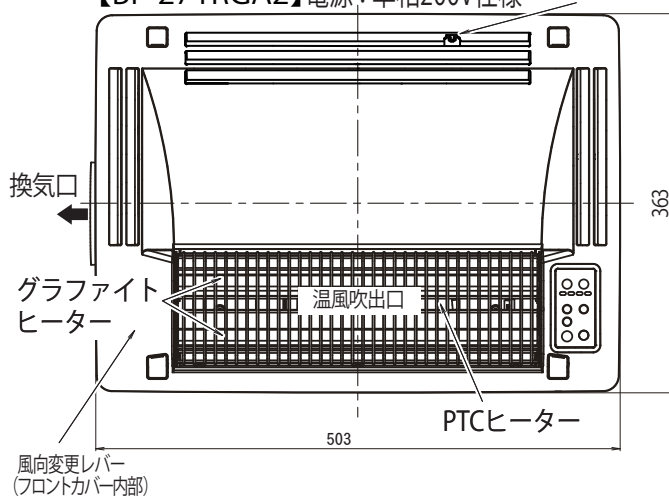
【BF-261RGA】電源: 単相100V仕様

フロントパネル



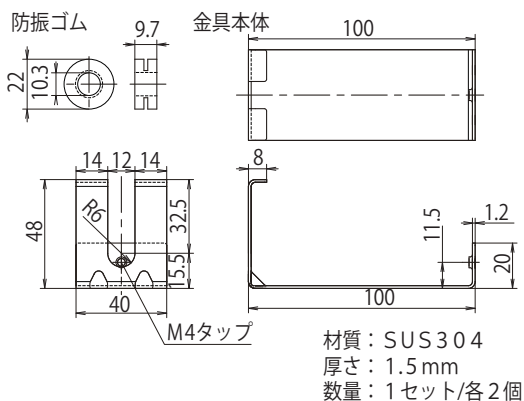
【BF-271RGA2】電源: 単相200V仕様

フィルター



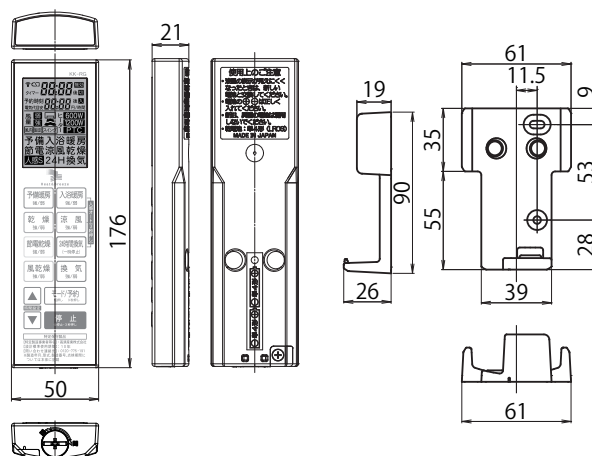
■別売品

■天吊り金具 (品番: BF-TK-5)

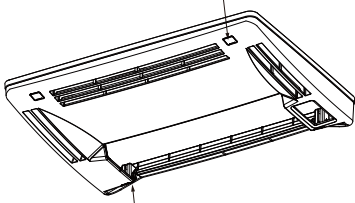
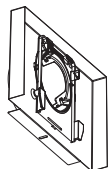
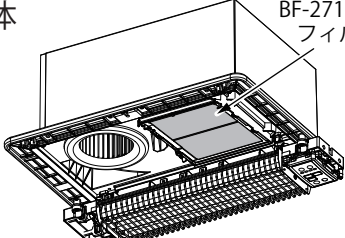
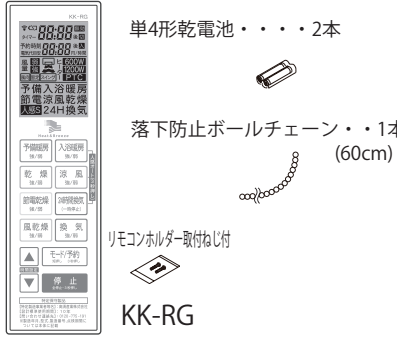


■リモコン(KK-RG)

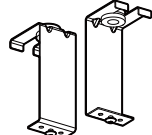
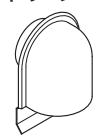
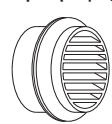
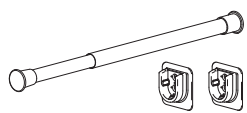
■リモコンホルダー



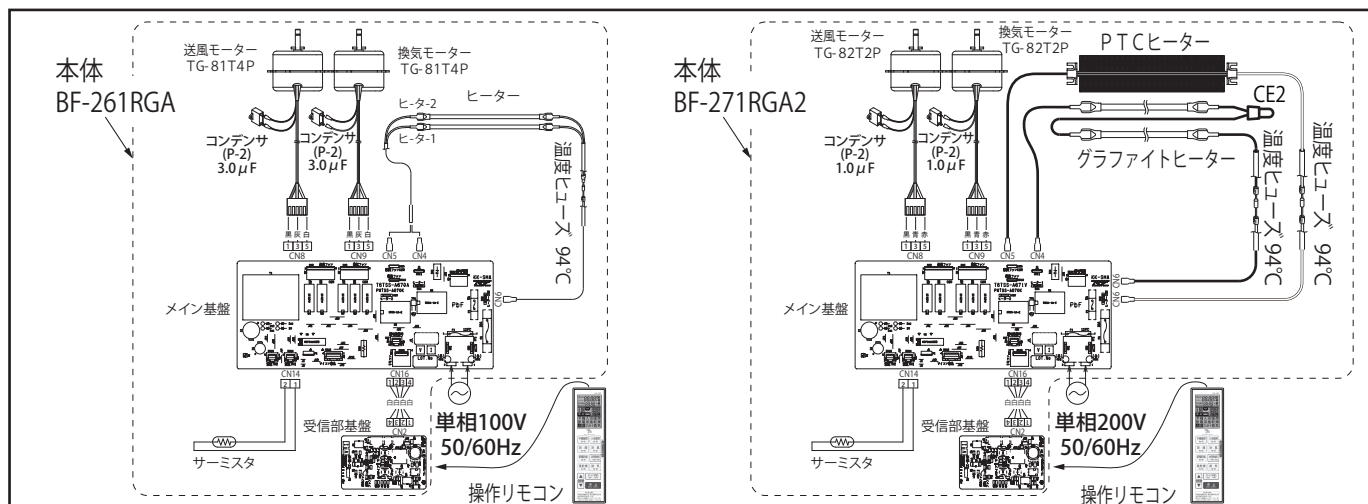
■同梱部品(必ず確認してから工事してください)

フロントパネル パネル取り付けねじカバー (4箇所)  フロントパネル取り付けねじ (4本)	排気側ダクト接続口 	本体取り付けねじ ドリルねじ 4×30 …7本
本体 BF-271RGA2 は フィルター付 	標準リモコン (付属品) 単4形乾電池・・・2本 落下防止ボールチェーン・・・1本 (60cm) リモコンホルダー取付ねじ付 KK-RG 	フランジ用パッキン(白) ・・・1本 取扱説明書 ……1冊 工事説明書 ……1冊 カンタンリモコンガイド・・・1枚 所有者票 ……1枚 個人情報保護シール …1枚

■別売品

サブリモコン  KK-RG-M	天吊り金具  BF-TK-5	パイプフード  GFL-100E	ベントキャップ  G-100E	ランドリーパイプ  LP-S1800T
---	--	--	--	---

■結線図



■現場で用意してください

電源用電線	VVFケーブルΦ2.0	適量	
漏電ブレーカー	過電流保護兼用で定格電流20A、高感度高速型		分電盤にあればよい
アース線	銅線Φ直径1.6以上	適量	
アース棒		適宜	アース工事用
ダクト	Φ100(不燃材料)	適量	吸気・排気用
アルミテープ	幅50mm(推奨)	適量	ダクト固定用
天吊り金具	別売品品番:BF-TK-5	1個	製品を天吊りする場合
吊りボルト	M10または3/8インチ(ナット6個)	2本	
取付補強材	天板を含め45mm以下の材料	適量	製品を直付けする場合
パイプフードまたはベントキャップ	別売品品番:GFL-100E、G-100E	1個	排気壁面取り付け用
ランドリーパイプ	別売品品番:LP-S1800T	1本	衣類乾燥を行う場合

1. 取り付け前の準備

BF-261RGA にて説明

お願い

- 本体設置工事と電気工事が異なる場合、工事説明書（本書）及び関連部品を確実に電気工事者様へお渡しください。
- 本体の取付に際して、天井を十分に補強するか天吊金具を必ず使用してください。
- 下図の寸法は推奨位置ですが、浴室・建物の構造条件に応じて取付方向・位置を検討ください。

① 本体取付位置の決定

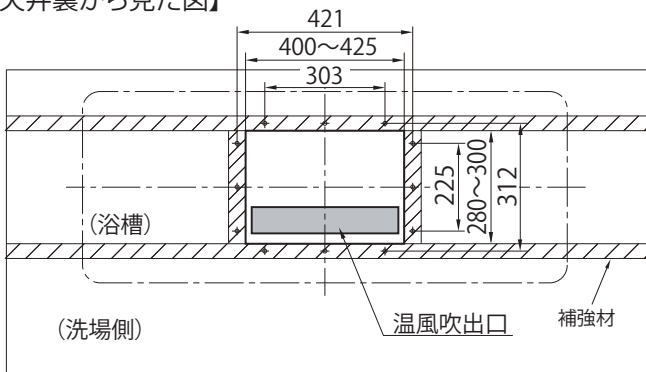
- 1) 浴室の天井板に開口部を設ける。新規開口の場合は、280mm×400mmを推奨

補強材取り付けの場合

- 2) 内寸が下図の寸法となるように、天井裏に補強材を設ける。

※補強材は、天井板を含め45mm以下のものを使用してください。ダクト接続口が取付できません。

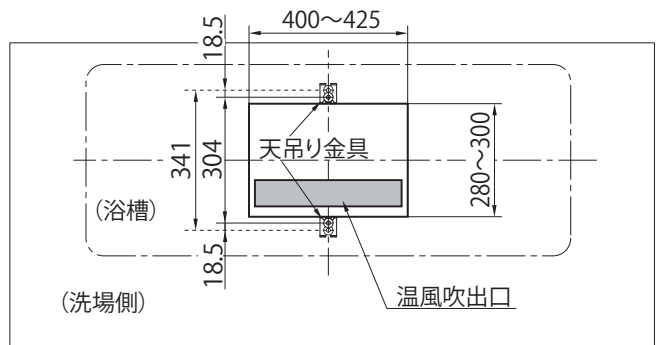
【天井裏から見た図】



別売品の天吊り金具を使って取り付けの場合

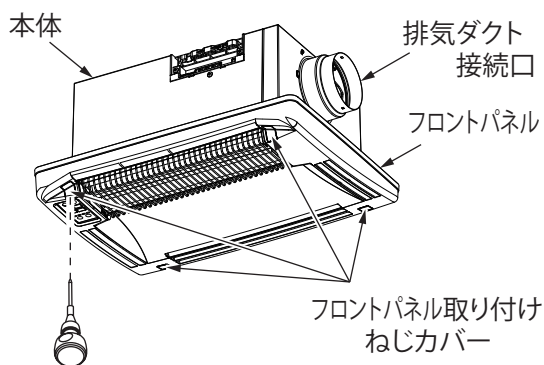
(天吊り金具品番: BK-TK-5が必要)

- 2) 下図を参照し、外形寸法図の天吊り位置にあらかじめ市販のアンカーボルト (M10または3/8インチ) を埋め込む。

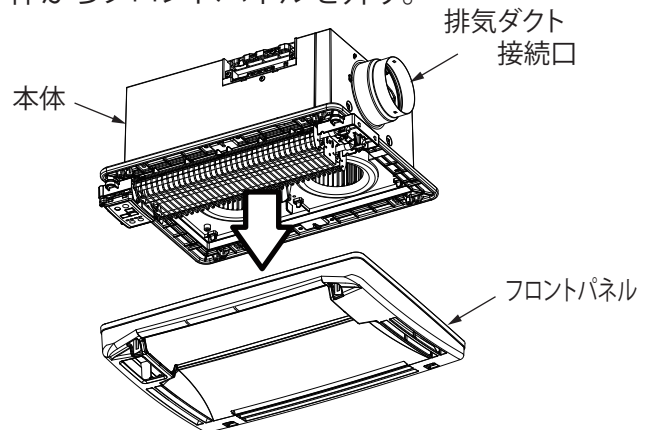


② フロントパネル、排気ダクトの外しかた

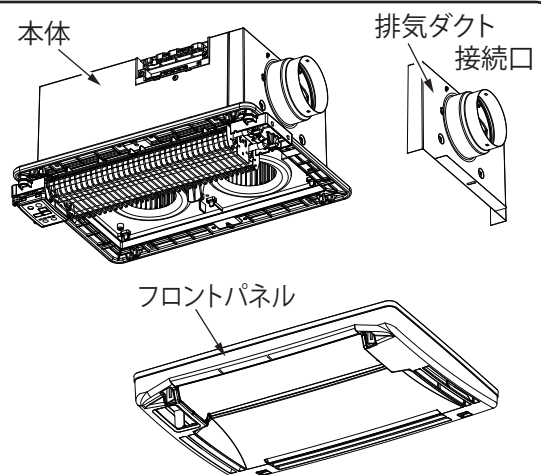
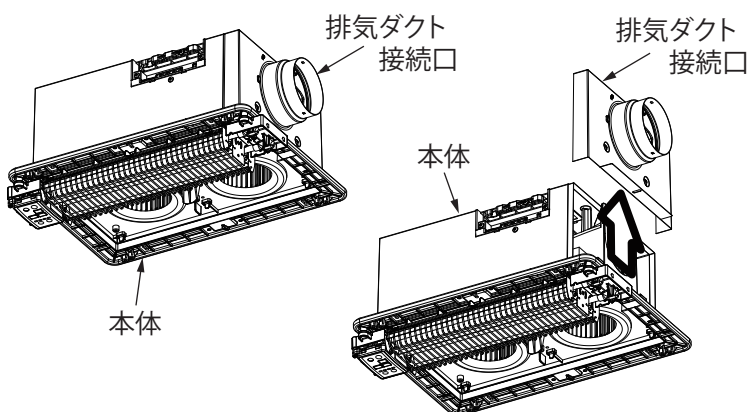
- 1) フロントパネル取り付けねじカバーを開き、取り付けねじ4本を外す。



- 2) 本体からフロントパネルを外す。



- 3) 本体から排気ダクト接続口を外す。

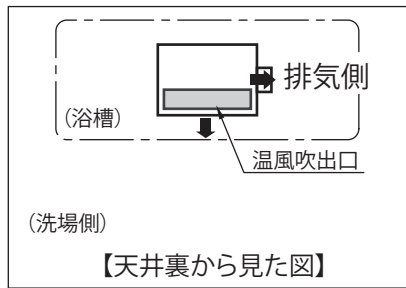


1. 取り付け前の準備 つづき

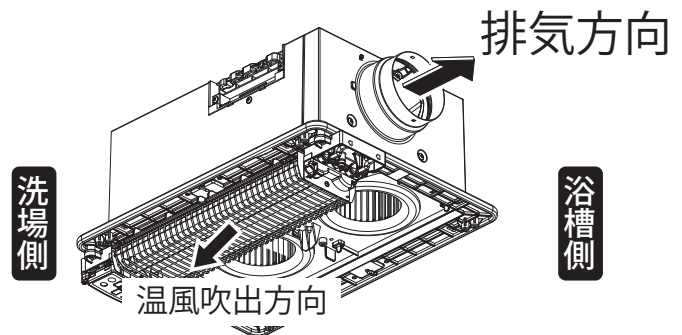
BF-261RGA にて説明

排気方向を優先して取り付けしてください。

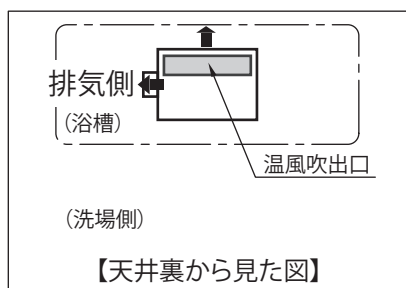
①図1の場合はそのまま施工をしてください。



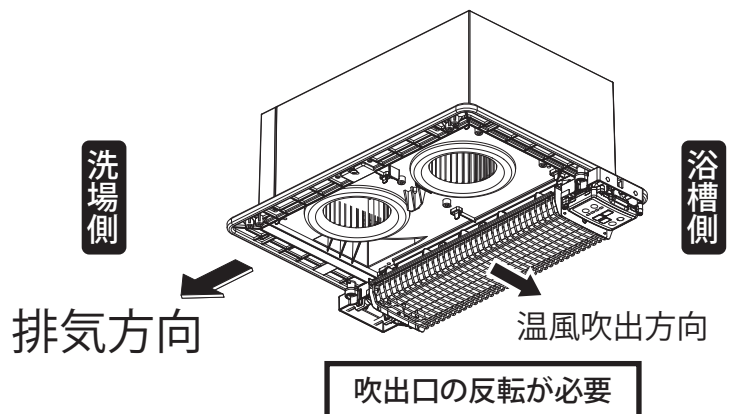
【図1】



②図2の場合は次の手順で温風吹出口方向を変更してください。

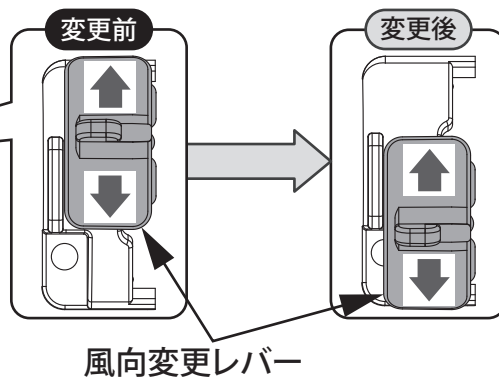
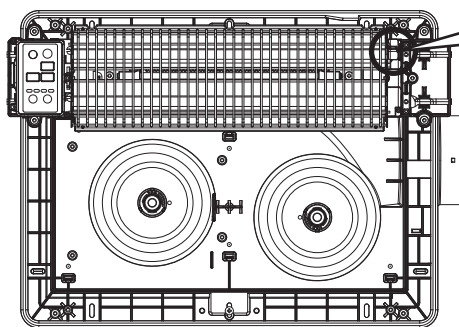


【図2】

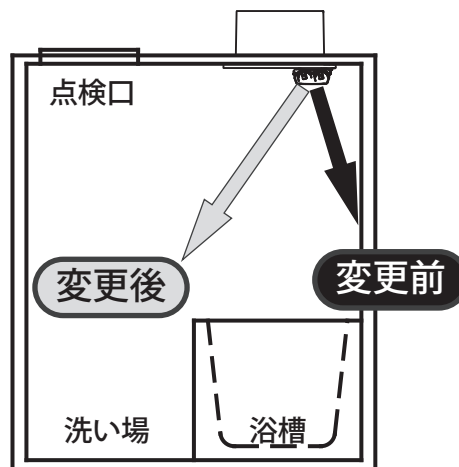


送風方向変更のしかた

風向変更レバーをスライドさせ、反射板を洗い場側へ向ける。



変更後の送風方向



2. ダクト接続口の取り付け

BF-261RGA にて説明

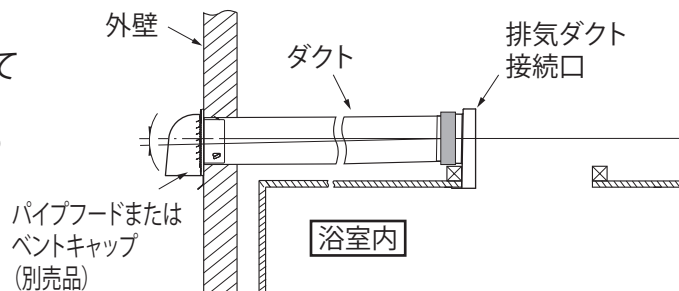
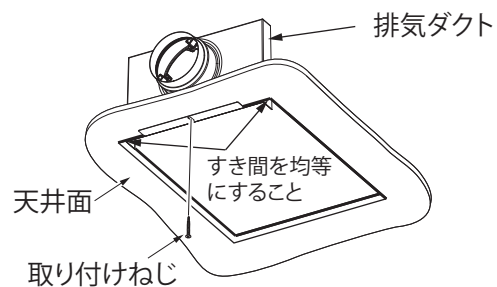
①取り付け前の準備③-3で外した排気ダクトを天井開口に当て、付属の取り付けねじ(1本)で天井面に固定する。

②ダクト接続口にダクトを接続して、風漏れのないようにアルミテープを巻いて固定する。

※ダクトは必ず屋外に向かって下り勾配にしてください。

※アルミテープは風漏れのないように巻いてください。

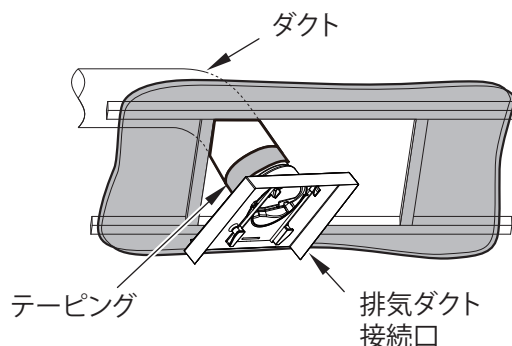
※ダクトは排気ダクトに力が加わらないように巻いてください。



ダクトは必ず屋外側に下り勾配(1/100~1/50)を設けてください。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。

ダクト接続作業を先に行う場合

天井裏が低く、後からダクト接続作業が出来ない場合には、ダクトを浴室内に引き込み排気ダクト接続口とテーピングし、天井面に排気ダクト接続口を固定します。



③外壁面に、パイプフード(別売品)またはベントキャップ(別売品)を取り付ける。

・パイプフード・ベントキャップの防虫アミ付(細目)は絶対に使用しないでください。

・パイプフード・ベントキャップは強制換気用の低圧損タイプを推奨しております。

■パイプフード・ベントキャップの施工方法は、それぞれの工事説明書をお読みください。

■次のようなダクトの配管工事はしない
故障の原因となります。

(1) 極端な曲げ



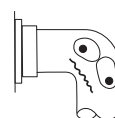
(2) 多数回の曲げ



(3) 接続ダクト径を小さくする



(4) 吐出口のすぐそばでの曲げ



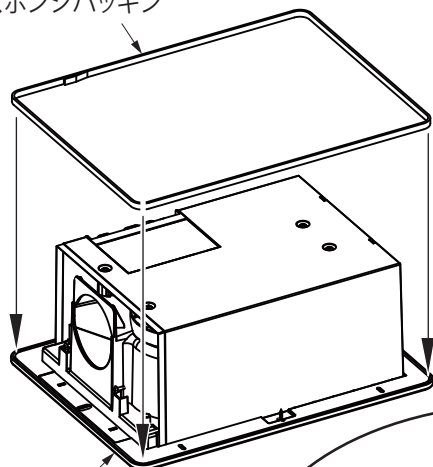
3. 本体の取り付け

BF-261RGA にて説明

- 本体取り付け前に電源の接続工事を行うことも可能です。
点検口がない場合や天井裏スペースが狭く作業が困難な場合は、電源接続作業を先に行ってください。

- ①スポンジパッキンを本体
外郭のミゾにはめ込む。

スポンジパッキン



本体

- ②排気ダクトが変形していないことを確認する。
※ダクトに無理な力がかかることで排気ダクトが変形する場合があります。

- ③本体をゆっくりと浴室から押し込み、排気ダクト
ツメの内側と本体の排気口を密着させる。
※確実に密着させないと、風漏れの原因になります。

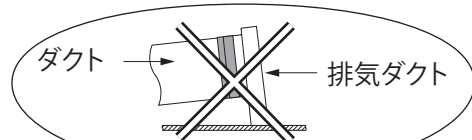
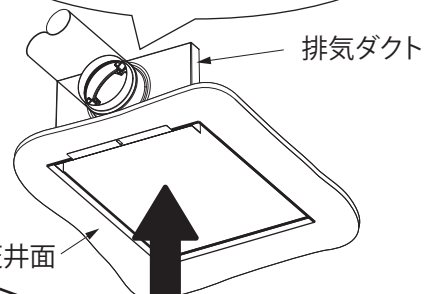


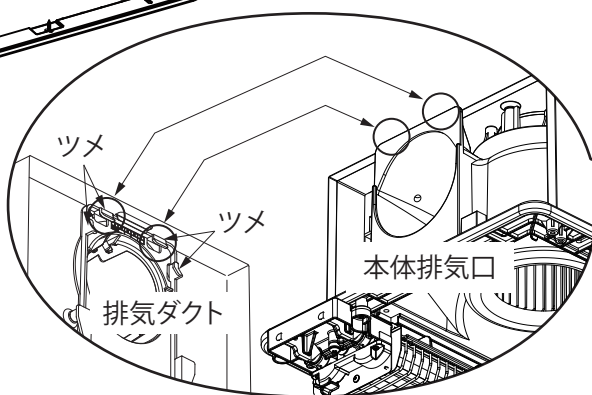
図3



天井面

排気ダクト

水平に押し
上げる



ツメ

ツメ

排気ダクト

本体排気口



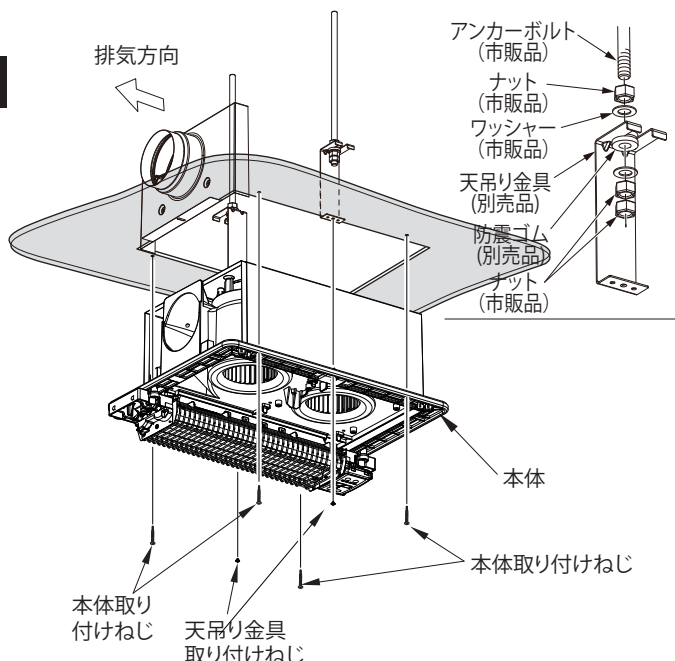
取り付けねじ

- ④付属の取り付けねじ6本を締め付け、本体を固定する。
- ⑤排気ダクト側と本体側が確実に密着している事を確認する。
※密着していないと、風漏れの原因になります。

別売品の天吊り金具を使って取り付けの場合

- 1)天吊り金具にアンカーボルトを通し、市販の
ワッシャー・ナットを使用して吊す。
- 2)天吊り金具を取り付け開口部の浴室天井面
に密着するようにナットを調節する。
- 3)排気方向を確認して天井開口部に本体を挿入し、
天吊り金具に取り付けねじで固定する。
- 4)本体が天井面に密着するようにアンカーボルト
のナットを調節し、本体を取り付けねじ4本で
しっかりと固定する。

- アンカーボルトの取付寸法については8ページ
「1. 取り付け前の準備」を参照してください。



排気方向

アンカーボルト
(市販品)

ナット
(市販品)

ワッシャー
(市販品)

天吊り金具
(別売品)

防漏ゴム
(別売品)

ナット
(市販品)

本体

本体取り
付けねじ

天吊り金具
取り付けねじ

本体取り付けねじ

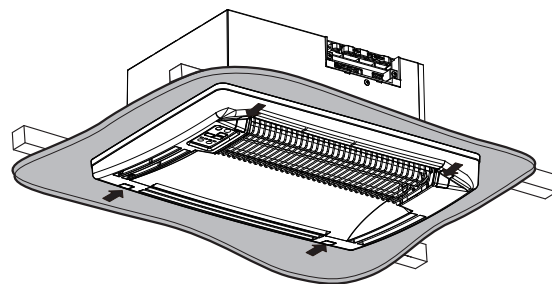
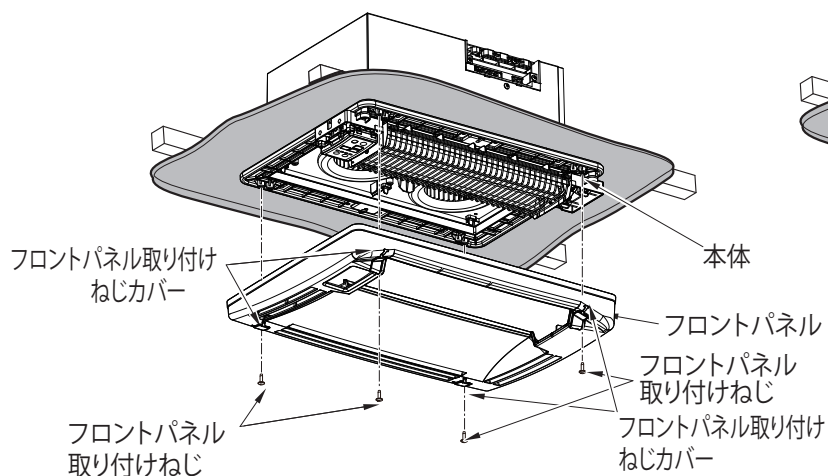
⚠ 注意

本体排気口と排気ダクトがしっかり収まっていないと、
本体が天井面に密着しません。
天井面にすき間なく密着するように固定する。

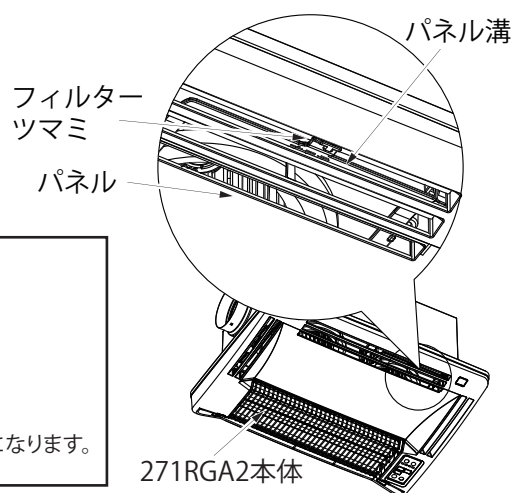
4. フロントパネルの取り付け

BF-261RGA にて説明

- ①フロントパネル取り付け(注1)ねじカバーを開け、取り付けねじ4本で本体に固定する。
- ②フロントパネル取り付けねじカバーを閉じる。



(注1)271RGA2の場合フィルターツマミをパネルの溝に入れてから固定する。



お願い

- ねじの締め込み過ぎに注意してください。
締め込み目安は、浴室天井とすき間がなくなった状態で、それ以上のねじの締め込みはやめてください。
破損の原因になります。
- ねじの締め込みは必ず手締めでおこなってください。
充電式ドライバーを使用すると締め込みトルクが大きすぎて破損の原因になります。

5. 電気工事

警告

- 電源はBF-261RGAは単相100V、BF-271RGA2は単相200Vを使用する
- 電源接続部の安全上のため、コード接続後は必ず配線カバー・コードクランプを取り付けること
ホコリなどが侵入した場合、発火のおそれがあります。
- コンセントおよび換気扇用の壁スイッチは使用しない
漏電、感電や火災のおそれがあります。

注意

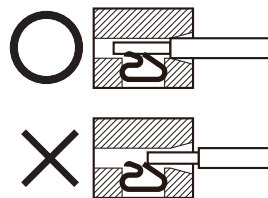
- 電気工事・アース工事は電気設備技術基準や内線規定に従って電気工事士が行う
- アース工事はD種接地工事に基づいて確実に行う
- 電源電線及び接続電線の接続は確実に行う
- 電源電線は専用の分岐ブレーカー(20A)より配線する
- アースを確実に取り付け漏電遮断器を設ける(分電盤にあればよい)
- 電源電線はΦ2.0mmの単線(VVFケーブル)を使用する
より線は接続不良により発熱のおそれがあるため使用しない

お願い

- 電源電線・アース線・は本体取付位置より2mほど余裕をもたせて配線してください

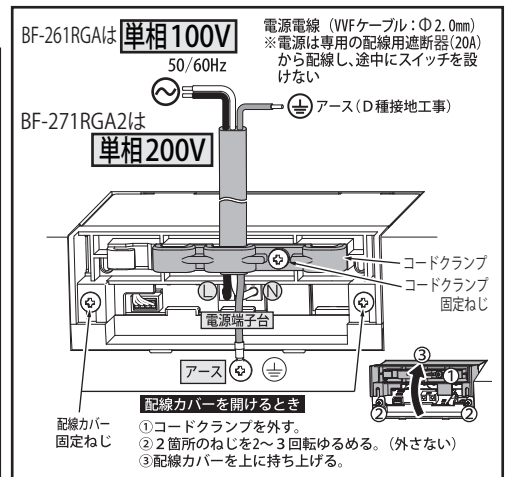
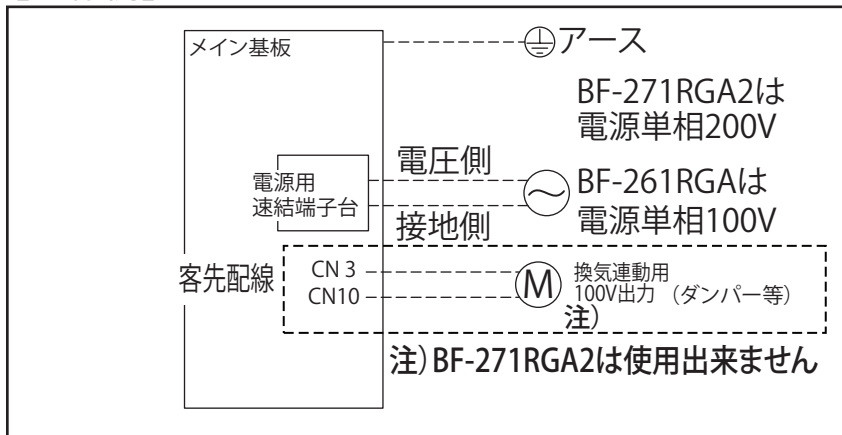
【電源電線を電源端子台に差し込むときの注意事項】

- 電源端子台に電源電線を接続する場合、電源電線を奥までしっかりと差し込んでください。
差し込み不十分な場合、発熱するおそれがあり、焼損や火災の原因になります。
- 皮むぎした電源電線部分が電源端子台外側に露出しないように確実に差し込んでください。
感電や火災の原因になります。
- 右図は電源端子台の内部図です。確実に電源電線が差し込まれたときに、防塵される構造になっております。電源電線の差し込み不良はトラッキング現象等の原因になります。

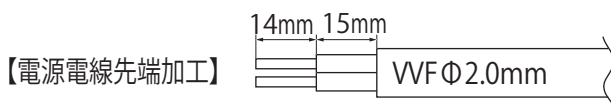


5. 電気工事 つづき

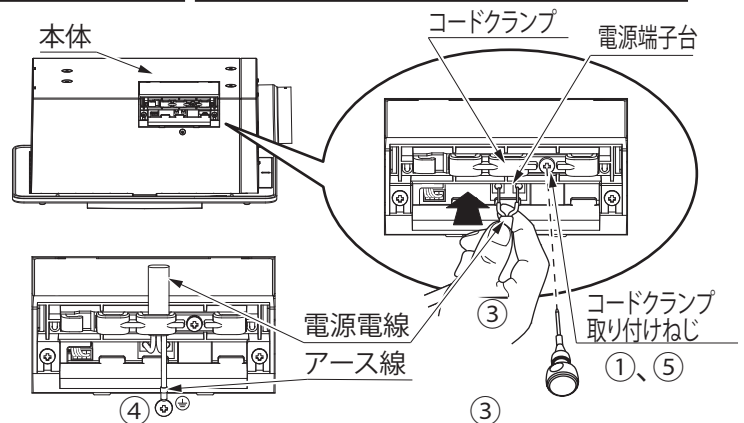
【配線例】



- ①コードクランプ取り付けねじを外す。
- ②電源電線は下図のように先端を段むきにする。



- ③電源電線を電源接続端子台に芯線が止まるまで確実に差し込む。
- ④アース線を接続する。
- ⑤電源電線をクランプにはさみ、①で外したねじで固定する。



警告

電源接続部の安全上のため、コード接続後は必ず配線カバー・コードクランプを取り付けること

ホコリなどが侵入した場合、発火のおそれがあります。

6. リモコンの取り付け

※取付位置はお客様とご相談のうえ、決定してください

- リモコンは必ず浴室の入口付近(脱衣室側)の操作しやすい場所に設置してください。
- リモコンは防水構造になっておりますので、浴室内設置も可能です。

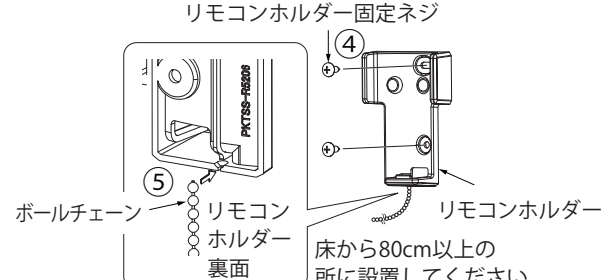
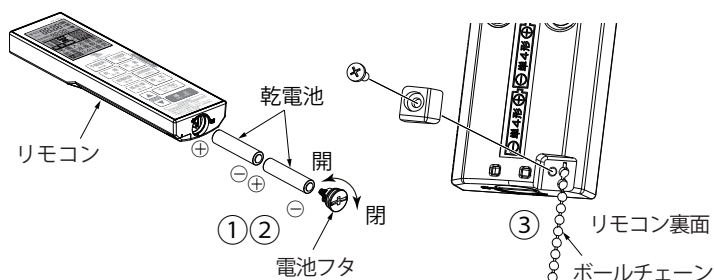
■ リモコンの取り付け

- ①リモコン底部の電池フタをドライバーやコインなどで回しフタを開ける。
- ②リモコンに付属の単四形乾電池2本を $\oplus$ $\ominus$ 正しく入れ、電池フタをドライバーやコインなどで電池フタを閉める。
- ③リモコンホルダー裏面のミゾに、落下防止ボールチェーンを差し込む。
- ④リモコンホルダーを付属の固定ねじ2本で固定する。
- ⑤リモコン裏面のネジを外し、ボールチェーンをミゾに差し込みカバーをネジで固定する。
- リモコンホルダーは浴槽より80cm以上の高さの所に付ける。
- ⑥リモコンをリモコンホルダーに差し込む。

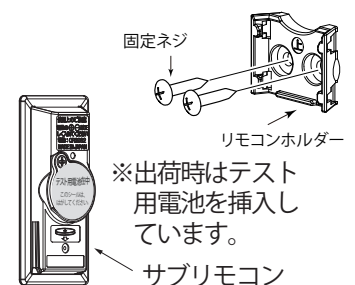
【乾電池挿入方法】

【リモコンにボールチェーン取付方法】

【ホルダーにボールチェーン取付方法】



【別売品】 品番: KK-RG-M サブリモコンの取り付け



お願い

取付工事が終わりましたら、取付状態はしっかりしているか、電気配線・アース接続・リモコン取付などに誤りはないか再確認してください。

7. 試運転

⚠ 警告



ファンやヒーターに触れたり、指や棒をいれない
感電、けが、やけどのおそれがあります。

お願い

- 電源を入れる前に、電源ケーブルが定格電圧
BF-261RGAは単相100V、BF-271RGA2は単相200V
の専用ブレーカーに接続されていることを確認して
ください。

リモコン KK-RG



1. 24 時間換気運転 換気ファンが回ります

① 24 時間換気運転をする時は



を押す 24 時間換気運転を開始します。



② 24 時間換気運転を完全に停止する時は

完全に停止する場合は



ボタンを 3 秒以上長押しする。

③ 24 時間換気運転を一時停止する時は



を押すと液晶表示部に 1 時間後入りが表示され
24H 換気表示が点滅します。

1 時間後に 24 時間換気運転が再開されます。



④ 一時停止を解除をする時は



を押す一時停止が解除され
24H 換気運転が再開します。



※人感オート運転は取扱説明書 P.16 を参照してください。

7. 試運転 (つづき)

2. 換気運転

換気ファンが回ります

① 換気運転をするとき

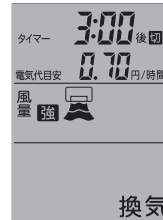


を押すと換気 (強) 運転を開始します。

② 風量を変更するとき



を押すごとに、換気ファン 強 ⇄ 弱 の風量が切替わります。



換気 (強) 運転



換気 (弱) 運転

③ 換気運転切タイマーを変更するとき

▲/▼ を押して、切タイマーを変更できます。

切タイマーは10分単位で最高12時間まで設定できます。

④ 換気運転を停止するとき

切タイマーが終了するか、を押すと、換気運転が停止します。

●切タイマーの工場出荷時は3:00時間に設定してあります。

※人感オート運転は取扱説明書 P.16 を参照してください。

3. 涼風運転

換気ファン、送風ファンが回ります

① 涼風運転をするとき



を押すと涼風 (強) 運転を開始します。

② 風量を変更するとき



を押すごとに、換気、送風ファン 強 ⇄ 弱 の風量が切替わります。

③ 涼風運転切タイマーを変更するとき

▲/▼ を押して、切タイマーを変更できます。

切タイマーは10分単位で最高12時間まで設定できます。



涼風 (強) 運転



涼風 (弱) 運転

④ 涼風運転を停止するとき

切タイマーが終了するか、を押すと、換気運転が停止します。

●切タイマーの工場出荷時は3:00時間に設定してあります。

※人感オート運転は取扱説明書 P.15 を参照してください。

7. 試運転 (つづき)

4. 予備暖房運転 送風ファンが回り、ヒーターが入ります

① 予備暖房運転をするとき



予備暖房を押すと予備暖房(強)運転を開始します。



予備暖房(強)運転



予備暖房(弱)運転

② 風量を変更するとき



を押すごとに、送風ファンの風量が 強 ⇄ 弱 切替わります。

③ 予備暖房運転切タイマーを変更するとき



を押して、切タイマーを変更できます。
切タイマーは10分単位で最高12時間まで設定できます。

④ 予備暖房運転を停止するとき

切タイマーが終了するか、を押すと、予備暖房運転が停止します。

●切タイマーの工場出荷時は3:00時間に設定してあります。

5. 入浴暖房運転 送風ファンが回り、ヒーターが入ります



を押すと入浴暖房(1200W)運転を開始します。



入浴暖房(1200W)運転



入浴暖房(600W)運転

② ヒーター 1200W、600W切替するとき



を押すごとに、ヒーター 1200W ⇄ 600Wの切替ができます。

③ 入浴暖房運転切タイマーを変更するとき



を押して、切タイマーを変更できます。
切タイマーは10分単位で最高12時間まで設定できます。

④ 入浴暖房運転を停止するとき

切タイマーが終了するか、を押すと、入浴暖房運転が停止します。

●切タイマーの工場出荷時は3:00時間に設定してあります。

※人感オート運転は取扱説明書 P.10 を参照してください。

6. 乾燥運転 換気ファンと送風ファンが回り、ヒーターが入ります



を押すと乾燥(強)運転を開始します。



乾燥(強)運転



乾燥(弱)運転

② 風量を変更するとき



を押すごとに、送風、換気ファンの風量が 強 ⇄ 弱 切替わります。

③ 乾燥運転切タイマーを変更するとき



を押して、切タイマーを変更できます。
切タイマーは10分単位で最高12時間まで設定できます。

④ 乾燥運転を停止するとき

切タイマーが終了するか、を押すと、乾燥運転が停止します。

●切タイマーの工場出荷時は3:00時間に設定してあります。

7. 節電乾燥運転

8. 風乾燥運転

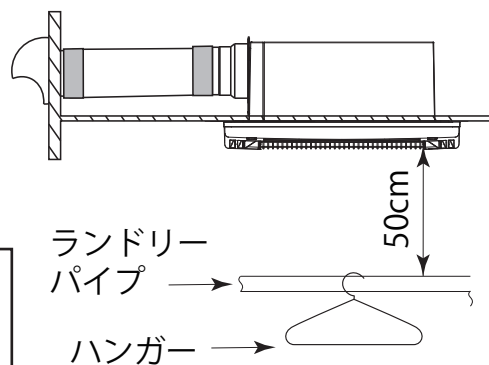
については取扱説明書を参照してください。

8. ランドリーパイプの取り付け (別売品)

■ランドリーパイプを購入される時は必ず1本あたり 10kg 以上の重量に耐える不燃性と耐食性のある品物を選んで取付ける。

ランドリーパイプセット (別売品) 品番: LS1800T-2

■ランドリーパイプの位置は必ず右記の寸法で取付ける。



⚠ 注意

❗ 本体のヒーターから、洗濯物を掛けたとき 50cm 以上確保できるようにランドリーパイプを取付けてください。近づけすぎると火災や故障、衣類の変色や変質の原因になります。

9. 異常表示

本体受信部に以下の様なエラーサインが表示された時は電源を切り、お買い上げの販売事業者へ連絡してください。

異常要因と受信部動作表示

「異常」と判定して停止する状態は、下表の通りです。

エラー要因	説明	LED表示1	LED表示2	LED点滅	動作
室温サーミスタ異常	室温サーミスタ短絡/断線	強 & 弱LED	送風 & 換気LED	0.25秒	停止 ※1
室温異常	室温60℃以上	強 & 弱LED	送風 & 感知LED	0.25秒	停止 ※1
受信基盤通信異常	通信線短絡/断線・ノイズ等	強 & 弱LED	人感LED	0.25秒	全停止
電源電圧異常	電源電圧低下/超過	強 & 弱LED	人感LED	1 秒	停止 ※2
EEPROM異常	読み込み3回エラー	強 & 弱LED	感知LED	0.25秒	全停止
本体CPU異常	フラッシュメモリ異常	強 & 弱LED	送風LED	0.25秒	全停止
基板寿命警告	部品寿命警告 ※4	換気, 送風, 感知, 人感LED		1秒	全停止
基板寿命エラー	部品寿命エラー ※4	換気, 送風, 感知, 人感LED		0.25秒	全停止
ヒータサーミスタ異常	ヒーターリレー発熱検出・サーミスタ短絡/断線 ※3	強 & 弱LED	換気 & 感知LED	0.25秒	運転不可

“全停止”の異常はリセット操作(停止SW長押し10秒)で異常表示を消すことができますが、リセット後も異常状態を検出した場合は再度異常表示をします。

※1 室温サーミスタ異常、室温異常時は乾燥・暖房運転のみ自動停止し、他の運転は動作可能とします。停止時は異常LED点滅、異常中の24H換気、涼風、換気運転時は異常表示をしません。

※2 電圧低下異常時は、電圧が正常値に戻った場合は自動復帰します。
電圧超過異常時は、基板にダメージが残った可能性がありますので復帰できません。

※3 ヒーターリレー発熱検出時、運転停止しますがヒーター冷却のための「送風ファン」は、強制的にON状態を継続します。
また、ヒーターリレー発熱検出時もサーミスタ短絡/断線のどちらの場合も、エラー検出後は停止SW長押しでのリセット操作は不可となり、AC電源供給をOFFにしないと異常表示を解除できなくなります。

※4 下記操作で応急運転は可能ですが、早めの点検をおすすめします。

■寿命警告表示 (運転時間11.5年経過で表示)



- ・4つのLED 1秒間隔の点滅
- ・本体の動作は停止する。

●寿命警告表示のリセット方法

本体側受信部の **停止** ボタン10秒長押しで再運転可能

■寿命エラー表示 (運転時間12年経過で表示)



- ・4つのLED 0.25秒間隔の点滅
- ・本体の動作は停止する。

●寿命エラー表示のリセット方法

本体側受信部の **運転** + **モード** + **停止** 3つのボタンを3秒間同時押しで応急運転可能

●リセット後や主電源を切/入したときは寿命エラーを再表示します。

※**早めの点検依頼をおすすめします。**

10. 各種設定変更のしかた

■オプション設定操作方法

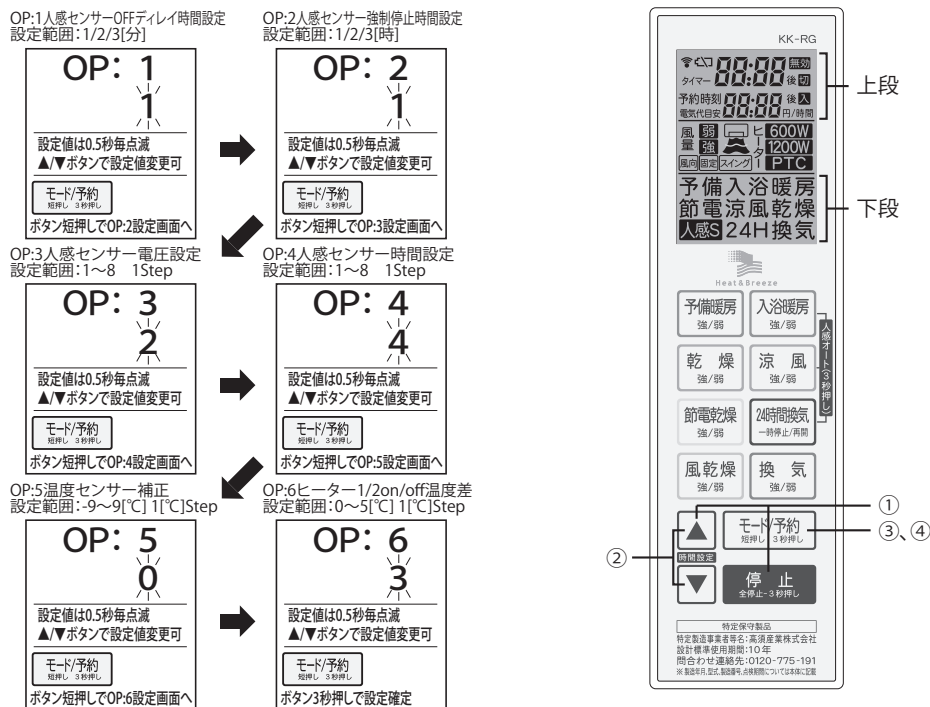
起動条件: 停止モードでのみ起動可能です。

- ① + ボタン同時 3 秒押しで設定変更画面になります。(上段に"OP:1"が表示、下段に初期設定値"1"が表示されます。)
- ② / ボタンで設定値を変更できます。
- ③ ボタン押すごとに上段"OP:1"～"OP:6" が切り替わります。
- ④ 3秒押しで設定が確定されます。

途中"OP:3"等で ボタンを3秒押ししても **無効** となり、設定は確定されません。

必ず"OP:6"まで設定してはじめて確定が有効になります。

操作途中30秒間ボタン操作がない場合、 ボタンを短押しすることにより変更前に戻ります。



BF-261RGAオプション設定一覧 : 初期値

項目NO.	項目	単位	設定データ範囲										液晶表示
			表示データ										上段
			設定データ範囲										下段
1	人感センサーOFF ディレイ時間	分	1	2	3							OP:1	
			1	2	3							×	
2	人感センサー 強制停止時間	時間	1	2	3							OP:2	
			1	2	3							×	
3	人感センサー 電圧設定	dig	1	2	3	4	5	6	7	8		OP:3	
			30	50	70	90	110	130	150	170		×	
4	人感センサー 時間設定	秒	1	2	3	4	5	6	7	8		OP:4	
			0.4	0.8	1.2	1.6	2	2.4	2.8	3.2		×	
5	温度センサー 補正	℃	-9	-8	-7	...	0	...	8	9		OP:5	
			0	1	2	...	9	...	17	18		×	
6	ヒーター1/2 on/off温度差	℃	0	1	2	3	4	5				OP:6	
			0	1	2	3	4	5				×	

10. 各種設定変更のしかた (つづき)

■時刻設定操作方法

取扱説明書 (P-22) を参照し、設定してください。

■同機種を2台設置した場合のリモコンチャンネル設定変更のしかた

①電池投入し液晶表示点滅終了後30秒以内に②の操作をおこなう。

②▲SW+▼SW+停止SW同時押し3秒すると

上段表示部に“SEt”を表示、下段表示部に××1が表示します。

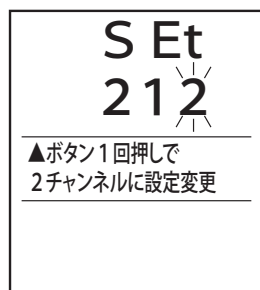
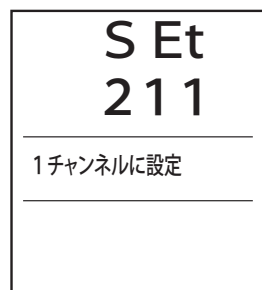
③▲SWを1回押し、××2に変更。

④リモコンを本体に向けモード/予約SWを長押し3秒で確定します。

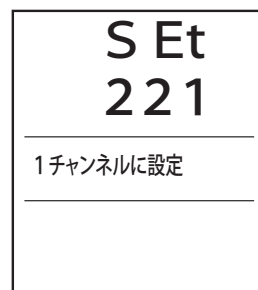
・30秒間無操作で、元の状態に戻ります。

・途中で設定を中止する場合、停止SWを押せば元の状態に戻ります。

BF-261RGAの場合



BF-271RGA2の場合



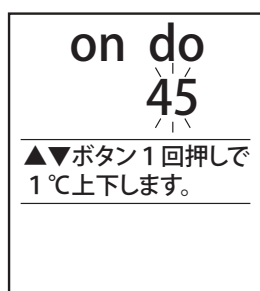
■浴室内の温度を上げるとき、下げるときの設定変更のしかた

①モードSW+入浴暖房SW同時押し3秒すると

上段表示部に“ondo”を表示、下段表示部に“45”が表示します。

②▲SWで1℃単位で上昇し最大50℃まで設定可能です。

▼SWで1℃単位で下降し最小30℃まで設定可能です。



・30秒間無操作で、元の状態に戻ります。

・途中で設定を中止する場合、停止SWを押せば元の状態に戻ります。

11. ファンのお手入れ 261RGA にて説明

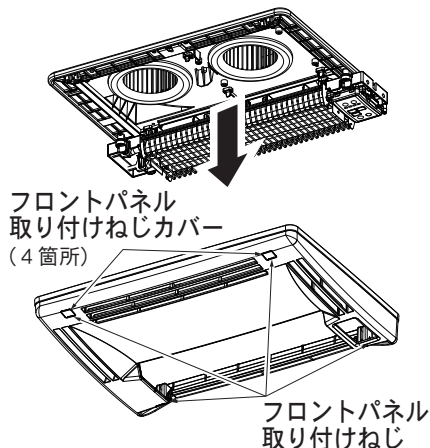
警告



■お手入れの際は、分電盤のブレーカーを切る
感電やけがをすることがあります。

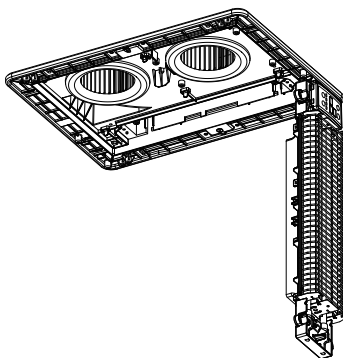
1. フロントパネルをはずす

- ①フロントパネル取り付けねじカバーを4箇所外す。
- ②フロントパネル取り付けねじ4箇所を外す。
- ③フロントパネルを本体から外す。



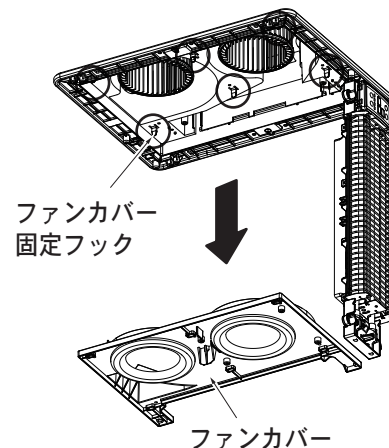
2. ヒーターユニットをはずす

- ①ヒーターユニット固定ねじ4本を外す。
- ②ヒーターユニットをフックに引っ掛ける。



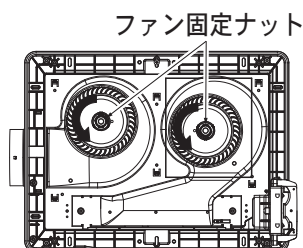
3. ファンカバーをはずす

- ①6箇所のファンカバー固定フックを外し、ファンカバーを外す。



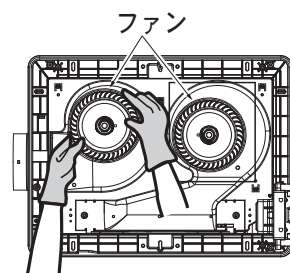
4. ファン固定ナットをはずす

- ①ファン固定ナットを左に回して外す。
(ナットは手で回すことができます。)



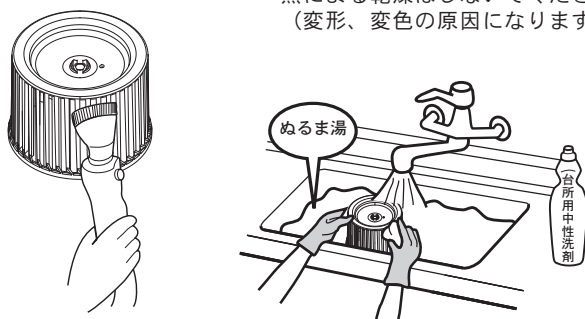
5. ファンをはずす

- ①ファンを両手で持ち、下側に引き抜く。



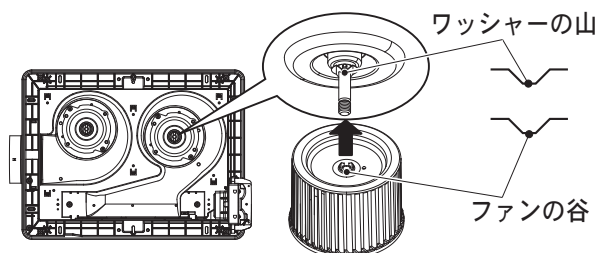
6. ファンのお手入れ

- ①掃除機でホコリを吸い取ってください。
- ②台所用中性洗剤を薄めたぬるま湯に浸し、水洗いしたあと、からぶきをして水滴をよくふきとる。
熱による乾燥はしないでください。
(変形、変色の原因になります)



7. ファンの取り付け

- ①ワッシャーの山と、ファンの谷を合わせ、ファンを最後まで押し込む。
- ②以下外しかたの逆の手順で組み立ててください。



高須産業株式会社
TSK 換気システム

本社工場 〒311-2404 茨城県潮来市水原3080
TEL 0299-67-5151 (代) FAX 0299-67-5120
URL: <http://www.takasu-tsk.com> E-mail: info@takasu-tsk.com